広報まにわ

2007 12 第32号

賑(にぎ)わいと安らぎの杜(もり)の都 真庭

主な記事

■山と生きる P2～
■お知らせワイド版 P14～
■市政トピックス P18～
■生涯学習フェスティバル写真集 P24～
■読者の広場 P26～
■まちの話題 P34～

山は楽しいぞーっ

櫃ケ山(ひつがせん)ほっとスカイウォーク
山頂での大声大会

山と生きる

蒜山地区でブナの植樹会が行われました。
雲一つない秋晴れの中、市内外から多くの皆さんが訪れ、
ブナの苗木を一本一本ていねいに植えていく姿は
ほほえましいものでした。
真庭市は約79パーセントが山林を占める杜（もり）の都。
ところが、皆さんの普段の生活はどうでしょう。
現代の生活スタイルは、
山とは、ほど遠いところで形づくられているようです。
山に何らかの魅力を感じるから、
このように人が集まるのでしょうか。
そうだとしたら、真庭の山は宝ものかもしれません。
でもそれは、活用次第なのです。

蒜山高原ブナ植樹 1,000本達成記念植樹会
10月28日、真庭市と「倉本聰とブナの会」の共催により三平山のふもとで行われました

実家のある真庭に戻ってきたのが、5年前。それまで関西で暮らしていました。蒜山の旧友から、昔は周辺の山にも美しいブナの森が多くあったという話を聞いていたため、真庭に戻るとブナの森を再生していきたいという構想は常に持っていました。

戻ってきて数人の仲間と始めたのが、秋にブナの実を拾って苗として育てることでした。ところがブナの実を拾っていると、肝心の種の部分になる中身のないものが多くあったのです。全国のブナが生息する地域の方に手紙を出して聞いてみると、

再生

「蒜山高原ブナ植樹」は今年で5年目。植えた木がすぐに、りっぱな森林になるわけではありません。森林となるには十年、百年と時間がかかります。どのような思いで森づくりを始めたのか、主催者にお話しを伺いました。

倉本聰とブナの会代表
山谷吉孝さん
（荒田）
朝鍋鷲ヶ山のブナ林にて

ブナの実

同じような現象は各地で起きているようでした。このまま森を放っておいても自然の状態ではブナの森は再生できないのでは…。

「とにかく植えてみよう」、これが植樹の始まりでした。

ちょうどそのころ、富良野塾の公演で勝山に来ていた倉本聰さんに、ブナ植樹の必要性を説いた「趣意書」を書いていただきました。倉本さんも同じように森を育てる活動をしているということは、言うまでもありません。

山を歩いて見るブナの林は、四季折々に美しく生命力にあふれています。行政との協働事業で植樹を開始して5年目、植えたブナは1、000本を越えました。このブナが五十年、百年後どのような森林になっていることでしょう。そのころ、わたしは生きていないでしょうから見ることはできませんが、植樹などの活動を通して、明確な将来を「創造」することは楽しいものです。

都会には、自分のふるさとがない人がいて、田舎にそのふるさとを求めている人も多くいます。その人たちの心のよりどころや安らぎといった場所こそ、美しい森林ではないでしょうか。「山や美しい森林に囲まれた真庭はいいなあ」と、真庭が第二のふるさとに選ばれれば、どれだけ素敵なことでしょう。

森について考える

10月27日、蒜山高原ブナ植樹が千本を達成したことを記念して、作家の倉本聰さんを招き、講演会が勝山文化センターで開かれました。演題は「森について考える」。講演の内容をまとめてみましたので、ご一読ください。

山と生きる

幹を見て、葉を見ず

森が水を蓄えてくれているということは皆さんご存知だと思いますが、おもしろい調査結果があります。(会場の)天井くらいの高さのシラカバの木に、どれくらいの葉があると思いますか。数えてみると7万5千枚ありました。この葉を一面にして敷き詰めると、ちょうど200坪ぐらい、ゴルフ場のグリーンぐらいです。森にはその葉が何層にも積み重なっているのです。ですから森の地面はちょうど濡らしたスポンジのように、じっとりとした感じになっています。この水が徐々に地表を流れたり、地中にしみこんだりして、わたしたちの飲み水となっているわけです。人間は、飲料水・生活用水を合わせて一日に約400トンの水が必要といわれています。この水を補ってくれているのが森であり、葉なのです。

ところが、その水によって潤っている下流の人の多くが、自分たちの水を作ってくれている森に対して何もしていません。森を育ててくれている人たちが無視されているのです。

それからもう一つ、皆さんこうやって鼻と口を押さえて息を止めてみてください。どのくらい止めていられるか。多分、1分もつ人はあまりいません。わたしたちは常に酸素を吸って生活しています。酸素を吸ってないと何にもできないのに、あまりにも当たり前すぎて、このことを忘れているのです。この酸素がどこから来てるかというと、これも木の葉っぱです。つまり酸素と水という、我々の生活にとって、最も大事なものを賄ってくれるのは木の葉っぱなのです。ところが、人類は金になる幹だけを見て、葉っぱを無視してきました。幹を見て葉を見ずだったのです。このことが今、恐ろしいことを巻き起こしてます。

森に対して、人類が犯してきた大きな過ち
それは、森というものを
木材の生産価値だけで計ってきてしまったこと

文明が生む不毛の地

日本に不毛の地というところがあるのをご存知ですか。大都市がそうなのです。道路もそう、つまり、文明はどんどん不毛の地を増やし、森の育つ場所を狭めているのです。

植物は二酸化炭素を吸って、酸素を吐いてくれる。動物はその酸素を吸って二酸化炭素を吐き出す。このバランスがうまくいかないとわたしたちは生きていけなくなるのです。

なのに簡単に森を切ってしまう。

こうした「森を切る」ことについての考え方は、経済本位のものの考え方から立ち直らないと変わらないでしょうね。

わたしたちは、ずっと昔の先祖が同じように見てきた古い巨木でも、今のチェーンソーなら5分から10分で切ってしまいます。この怖さというものを、わたしたちは知らなくてはならないという気がするのです。

倉本　聰さん　くらもと　そう

作家、脚本家、劇作家、演出家。
1935年生まれ、麻布中学校・高等学校、東京大学文学部美術科卒業、ニッポン放送プロデューサーを経て脚本家へ。若手俳優と脚本家養成のため、「富良野塾」開設、NPO法人C・C・C富良野自然塾開設・塾長就任。自らが暮らす富良野の谷のわき水が枯れた原因が森の伐採だということが分かり、植樹などを通じて森の再生について実践。
代表作品／北の国から、優しい時間など

子孫から借りている地球

今、地球上で一番酸素を出してくれているのは熱帯林（ジャングル）ですが、現在、ものすごいスピードで切られています。100年経ったら消滅するともいわれています。

また、IPCC（気候変動に関する政府間パネル）の発表によれば、あと40年で採掘可能な石油資源も終わるだろうといわれています。たった40年ですよ。

世間の人は「そんなことはあるまい」って思っているかもしれませんが、わたしはむしろ前倒しになると考えています。

アメリカインディアンの部族でいわれていることですけども「地球は子孫から借りている物」という言葉があります。地球は子孫から借りているものなんです。わたしたちはこのことを念じながら、この地球を子孫の代まで残さなきゃならない。

今、わたしたちに何ができるのか…ということを考えたとき、本当にむなしい努力かもしれませんけども、木を植え続けたいと思います。

今、わたしが植え始めてる森というのは、30年～50年経たないとしっかりした森にならないと思います。

もちろんわたしは死んでいますが、しかし、それでも未来図というものを考えておかないと、未来へ物事が続いていかないと思います。

同じ取り組みがここ、真庭市でも行われています。ブナは木へんに無（橅）と書きます。「木材としての価値が無い木」という意味ですが、酸素の供給、水の保蓄という意味からいうと「非常に価値のある木」です。これからもブナをしっかり植えていただきたいと思います。

翌日、三平山のふもとで参加者とともにブナを植樹した倉本さん

僕が植えた森が育つのは50年後
もちろん僕は死んじゃってるけど
でも、その先のことを考えておかないと
未来へ物事が続いていかない

人は、山とどう生きてきたのか

炭を背負って急な斜面を運ぶ作業（昭和40年代、久世地区）

現代は、情報や交通網が発達し、大変便利な時代になりました。ちょっと昔の昭和20～40年代ごろは、生活するには少し不便でしたが、現代にはない何かがあったように思います。今でも、そのときを生きてこられた方は多くおられます。山との暮らしについて、聞いてみました。

生活の場そのもの

子どものころから当たり前のようにしていた山の手伝い、高校卒業となる昭和30年から生計を立てるための炭焼きを始めました。そのころ、山久世には山を生活の糧（かて）としている人が多く、6割は炭焼きをしていました。この地区の炭焼きは、稲刈りの終わる10月中旬ごろに原木を切る山に窯を協力して作り、萌芽（ほうが）（切り株から新しい芽が出て再生）するよう木の活動の弱まる11月中旬ごろから原木となるクヌギなどを切り出します。斧（おの）とのこぎりを使っての重労働、切った木はこれまた人力で運んで玉切りにし、これを窯にこめて焼く。この作業をひと月に3窯のサイクルで繰り返します。3月いっぱいまでに、およそ500俵（1俵は約15キロ）を焼いていました。

昭和30年代後半になると一輪車やチェーンソー、炭を切る機械などの出現で作業は便利になってきましたが、原木となる木のある山はどんどん奥地になってきました。また、燃料の主流も石油に移り変わってきました。炭の需要減少に追い打ちをかけるよう、昭和38年の大豪雪。この地でも1メートル以上積もり、慣れない雪で作業が思うようにできませんでした。これを境に多くの人たちが、雇われる仕事に移っていきました。

山で仕事をする人たちは炭焼きも続けましたが、原木を利用したシイタケ生産へと移行していきました。

福島 明さん（山久世）
炭焼き、シイタケ生産、ピオーネ栽培など農林業を営んできました

同時に伐期を迎える前の雑木林や、町から払い下げられた採草地は、スギやヒノキの植樹が一斉に行われました。昭和42年には山久世だけで12万本もの苗が植えられました。

山の仕事をする人が減ったうえ、一斉に植えた針葉樹の手入れは思うようにはできません。このツケが台風の風倒木という形になったのかもしれません。人が手を入れるからこそ、山は生きるように思います。

採草地などに植樹された針葉樹（昭和31年、三坂）

茅葺き民家の冬支度（年代不定、蒜山地区）

助け合いの精神

わたしが茅葺き職人として働くようになったのが、昭和25年。当時は、まだたくさんの茅葺き民家がありました。茅葺き屋根の葺き替えは、春の訪れとともに始まります。茅葺き民家はそれぞれ、傾斜や寸法がすべて違います。どのくらいの茅や縄、竹が必要か、また人夫の人数などを依頼者に指定します。葺き替えは屋根がなくなるわけですから、急いで一軒一週間ほどで済ませていました。困るのは雨で、降りそうになると仮の茅を葺いてしのぎました。

屋根を葺き替えるとなると、多くの茅が必要です。地域の皆さんが協力して山で茅を刈り、乾燥させるためにそれぞれの家の2階に蓄えていました。人夫も職人一人に最低2人が必要です。これも近くの方が手伝いに来ていました。このように、いつかは自分が助けられるときが来るという助け合いの精神が、地域に根付いていたように思います。

職人として実力の付いた昭和30年後半ぐらいになると、茅葺き民家の数も減りましたが、職人の数も減ったので、まだ仕事の依頼がありました。これまでは茅の葺き替えは、どの家でも当たり前のことだったので、準備してくれた茅などは質が良かったのです。ところが茅葺き民家が減り、茅の確保も難しくなったのでしょうか、下準備が大変になってきました。そのころには、同業者が茅葺きの上に鉄板を張る仕事に乗り変えるところも出てきました。

未だ、わたしが葺いた民家も残っています。時代に大きく左右された人生でしたが、一つの誇りです。

古林 勉さん（豊栄）
茅葺（かやぶ）き職人として、茅葺き民家の屋根を葺いてきました

山と生きる

大切な採草地

左下の写真は昭和32年の夏に撮影されたものです。蒜山地区には、水稲、タバコに加え、少しでも生活が良くなるようジャージー牛による酪農が始まったころでしょうか。撮影日は飼っているジャージー牛の子が生まれそうだったので、わたしは草刈りには行きませんでした。父ら3人が草を積んだ馬車に乗って帰ってきたところに、カメラを向けられたので馬が驚き、父が降りて引いているという写真になったそうです。

わたしの家では馬でしたが、どの家庭でも田や畑を耕すために牛などの家畜を飼っていました。ですから草は必需品でした。今のように牧草は育てていなかったので、餌となる草は山の採草地に毎朝刈りに行っていました。草は、餌だけでなく馬などの敷き草になり、それは肥料として田や畑に入れるなど、うまく循環していました。

草の供給源となる採草地は地区にとっては大切なもので、皆で守ってきました。春になると良い草が生えるよう「山焼き」は欠かせません。大変な作業でしたが、地域の一体感がありました。

毎日山に行くので、山のことは詳しかったです。春にはワラビ、ゼンマイなどの山菜、秋にはキノコなど、どの時期にどこへ行けば採ることができるか、誰でも知っていました。

昭和40年代になると観光地として開発が進み、採草地の縮小、生活環境も大きく変わりました。写真の風景は本当に懐かしいです。

法花 一夫さん
（蒜山上福田）
ご両親、妹さんが写っている写真を提供していただきました

朝の草刈りの帰り道（昭和32年、蒜山上福田
現在の休暇村蒜山高原のある辺り）

山への誘い（いざな）

山との関わりが薄れたとはいえ、人々が山を忘れてしまったわけではありません。自然いっぱいの山に関心のある人は多いと思いますが、なかなか踏み出せない人もいるのです。このページでは、山と人とを結びつける活動をしている方々を紹介します。皆さんも現代に合った、山との生き方を楽しんでみてはいかがですか。

山と生きる

蒜山エコツーリズム
実行委員会委員長
山田 信光さん（蒜山西茅部）

お問い合わせは蒜山ガイドクラブ（蒜山観光協会内）TEL0867-66-3220まで。スノートレッキングではスノーシューやクロスカントリースキーの貸し出し有り。

自然環境を保護し、観光に結びつける

蒜山地区の自然環境や歴史文化というものを一つの「博物館」として見てみるとします。博物館に説明してくれる人がいれば、旅行者だけでは気付かない深みを得られるのではないでしょうか。博物館の中にある植物や生物、文化遺産といったものを保護しながら、観光に結びつけていくというのが蒜山エコツーリズムの考えです。博物館の説明員にあたるのが「蒜山ガイドクラブ」ということになります。

草原の広がる鳩ヶ原（はとがはら）を歩く大山道ツアー

現在10人ほどのガイドが近隣の山12ルートの登山を始め、キャンプ、名所旧跡・文化財めぐり、山菜やキノコ鑑定、スノートレッキングなどに取り組んでいます。ガイドは、ただ案内するというものではありません。案内途中で見つけた希少植物や生物の保護、湿原の水の管理といった保護活動が伴います。

昨年、蒜山地区内を通る「大山道」を復活させました。人が多く歩く道ではないので、夏は草刈りをして維持していきます。このような自然環境の整備や里山の保全などに、ガイド料の一部を使っています。

蒜山は自然に恵まれた土地と思われがちですが、実は希少植物や生物には危機的な状況が訪れています。このことをまず、市民皆さんに知っていただくことが大切なのかも知れませんね。

いよいよ冬。雪が積もると、どこでも歩くことができます。冬の蒜山も素敵ですよ。ガイドいたします。

植樹した木の生長を促す下草刈り

何かの機会に植樹体験をしたことがある人は多いと思います。でも植えた木は、その後どうなっているのでしょうか…。

昭和30年代、スギやヒノキなどの針葉樹の植林が全国的に進められ、若かったわたしも植樹をしたものです。でも、その山は時代の流れとともに取り残されていきました。森林を育てるには、適時に適切な処置が必要です。本当の森づくりとは何なのか考えさせられました。

真庭美しい森林づくりの会
会長
小林 寿満夫さん（勝山）

気軽に森林活動を体験できる「おかやま共生の森・久世」で間伐やキノコの菌打ち体験が12月8日に行われます。詳しくは20ページをご覧ください。

森林を育てることは、人も育てる

平成5年、県が始めた「美しい森林づくり」。星山のふもと菅谷地区の放牧場跡地に、モデルとなる森を作ることが決まったのです。散策してみるとドングリを実に付けるコナラやミズナラなどが多く、この地の適木と判断。早速、ドングリを拾い保育園や小・中学校、高等学校、老人クラブなどの協力を得てポットで苗を育てました。この苗を次の年から皆で植樹していったのです。

平成9年に「勝山美しい森」がオープンし、森づくりの輪はさらに広がりました。植樹だけでなく、盛んに行われるようになった森林の勉強会。無人の荒廃地だった所が、今では年間に約1万人の声が響く森として生まれ変わりました。

多くの皆さんの協力で作り上げた「勝山美しい森」。ここには毎年植樹をした皆さんが集い、自分たちが植えた木の手入れをしています。こういった森づくりに、皆さんも参加してみませんか。

森林インストラクター
谷口 重太さん（多田）

三平山森林公園、津黒いきものふれあいの里、霞ヶ丘森林公園（湯原）、大久留美山森林公園（美甘）、城山森林公園、勝山美しい森、みやまの里（久世）、塩滝（落合）などをご利用ください。

火を使った調理は山の楽しみを深める（許可必要）

雑木林で学び、山への関心を深める

山に関心を持っているが、山に入る経験が少なく踏み込めないという人のために、山歩きのガイドを各種団体や個人を対象に行っています。

日本人が山坂を歩いて体を鍛えてきた文化。今では車社会になり、無くなりつつあるように思います。

少し昔の人々は、雑木林で薪を取り、草木を刈って、人が入ることができる山を作ってきました。それを「里山」と呼んできましたが、経済活動が変わった現在では、雑木林の利用方法も違い、里山とはいえません。

でも、現在の雑木林を憩いや学びの場として活用できたらどうでしょう。斧やのこぎりなどでちょっとした間伐、肥料にするための落ち葉かきといった作業が、レクリエーションという形で楽しみに変わります。

「みやまの里」という雑木林の公園が久世にあり、整備に関わってきました。その森で小学生と山遊びを楽しんだことがありますが、そのときの子どもたちのはしゃぎようは、昔の子どもと何ら変わりはありませんでした。山の持つ開放感がそうさせたのかどうか分かりませんが、子どもたちは山を駆け回ることで、自然のしくみや生活の知恵を学び、山への関心を深めたように思います。

親子はもちろん、昔のことをよく知っているおじいさん、おばあさん、お孫さんと一緒に山で遊んでやってください。そうして、日本人が持っていた自然とのコミュニケーションを取り戻せたらいいですね。

豊かな恵みは、山からいただく

市内にはうまく山を活用したり、心の安らぎを得たりしている方がおられます。その活動は地域おこしであったり、生活に密着しているものもあります。その一部を紹介します。

気軽に楽しめる登山

山本一美さん（都喜足）

湯原地区に一段と高くそびえる櫃ヶ山（標高953・5メートル）。子どもから大人まで気軽に登山を楽しめることから、年間約1万人が訪れる人気のルートになっています。わたしたちは、この山と温泉を生かして、森林浴、日光浴、温泉浴を同時に楽しめるように「櫃ヶ山ほっとスカイウォーク」を行っていて、今年で19年目になりました。歩きやすい登山道と、天狗の森の原生林や星山への縦走ルートなど、見どころも満載です。ぜひ一度挑戦してみてください。きっと心も体も癒されるはずです。

櫃ヶ山山頂で「ほっ」とひと休み

炭焼きで深まる輪

家元萬美さん（上）

上地区で何かしようと始まった炭焼き。我々の世代は昔に手伝いはしたことがありましたが、詳しくは知りませんでした。阿口に炭焼きをされていた方がおられ、窯の作り方から焼き方まで教えてもらい、運営ができるようになりました。原木となるコナラなどの木も、地域の皆さんから「切ってほしい」と依頼があるほどで、足りないということはありません。焼けた炭は安く地域に還元しています。皆で作業をしますから、仲間の輪も深まっています。今日も皆で山に感謝して「一杯」やります。

宮峪窯にこめる原木を割る作業

循環する郷原漆器

徳山俊空さん（蒜山上徳山）

約600年の伝統のある郷原漆器。長い期間、その生産がこの地に根付いたのは、郷原漆器というものが自然の中でうまく循環しているからではないでしょうか。木地には20年～35年ほどのクリ材、ウルシは10数年で成木となりますから、永久的な山の恵みを受けているのです。平成になって郷原漆器を復活させ、少しずつ生産量が増えてきました。できるだけ地元の材料を使用していきたいので、クリやウルシの林を育てる活動をしています。次の世代にも、この思いは引き継がれていきます。

クリ材をくり抜いた木地の乾燥

得たのは心の豊かさ

笠　弘さん（蒜山本茅部）

家の近くに蒜山三座と大山が一望できる場所があるんですが、そこは「ここに住みたい」って思わせてくれた場所。二人のお気に入りの場所なんです。天気の良い日は妻と二人でそこへ散歩に出かけたりします。時には弁当を持ったりして（笑）。蒜山に移住して12年になります。初め感じた不便さも、今では不便でなくなりました。それに、ここに住むようになって「生きてるんだな」って、あらためて感じるようになりました。きっと、心の豊かさを与えてもらったからでしょうね。

この眺めが二人のお気に入り

魅力ある山、活用するためには

山と生きる

真庭市の面積の多くを占める山林。この魅力ある山をうまく利用しない手はありません。真庭市では、存続可能な資源として活用を始めています。

山歩き＋α（プラスアルファ）（健康・癒し・温泉）

観光振興課

「なぜ、山に登るの？そこに山があるから…」有名な言葉があります。山登りイベントはもちろんのこと、普段の日でも山に登る方が増えています。団塊の世代に時間ができたことと、健康志向が増大したからだと思います。観光的にいうと、三平山（みひらやま）、蒜山三座、朝鍋鷲ケ山（あさなべわしがせん）、仏ヶ仙、津黒山、櫃ヶ山（ひつがせん）、雨乞山（あまごいせん）、星山、高仙、三坂山など、誰でも挑戦できる山がたくさんあります。いい汗をかいて温泉につかって体を癒す環境も真庭市には整っています。ぜひ、ご利用お願いします。これから冬に向かいますので、充分気を付けて楽しんでください。

氏平篤正観光振興課長

エネルギーの供給源

商工振興課バイオマス推進室

「真庭は山という財産に囲まれた地域」。というのも、市ではバイオマスタウン構想を推進し、その一つに製材所や山で発生する未利用の木くずなどを「石油に負けないエネルギー」として実用化する仕組みをつくっているからです。具体的には農業用ハウスや製造業などに、木質燃料用ボイラを導入し、製材所などで製造した木質チップやペレットを燃料として供給していくものです。バイオマス資源を活用して真庭市を活性化するには、皆さんの理解がどうしても必要です。シンポジウム開催やイベントで説明コーナーを設けていますので、お立ち寄りください。

大美康雄バイオマス推進室長

森の特性に合う振興

林業振興課

「森の特性に合わせた振興計画を」ということで、市有林を森林の機能により、生産林、保全林、共生林に分けて整備計画を策定し、その機能を効果的に発揮できる施業を行います。具体的には、全伐せず間伐を行い長期的な視野でみる生産林、水源かん養や災害防止を発揮する保全林の確保、そして市民の癒しや体験の場となる共生林の整備などです。現地にあった樹種、植栽方法により災害に強い森林をつくり、森林災害を未然に防ぐ。森を育てるには時間と労力がかかるものです。ぜひ皆さんも山に親しんでいただけるよう森林公園などに遊びに来てください。

池田和道林業振興課長

環境学習の土台

環境課

「不法投棄は、なぜ減らないのか」これは永遠の課題。「ごみを捨てない」という教育は誰もが受けてきたはずなのに…、マナーだけの問題でしょうか。市民や各種団体などがふるさとをきれいにしようと自主的に清掃活動をしていただいているおかげで、現状の環境が維持されていると思います。市では美しい景観や環境を守ろうという機運を高めるため環境教育に力を入れています。その土台となるのが真庭の自然、山であり森林なのです。癒しの空間というだけでなく、生活に必要な恩恵を自然から受けていることを知っていただき、環境に関心を持っていただければと思います。

村松邦博環境課長

山と生きる

誇り

これまでも
これからも

写真：「蒜山の初冠雪」三原政人さん（蒜山下福田）

申告期限がありますのでご注意ください

お知らせガイド information版

お問い合わせは各担当部局へ

所得税から住宅ローン控除額を引ききれなかった方

控除しきれなかった分は住民税（所得割額）から控除されます

市民生活部 税務課 TEL 0867(42)1114

税源移譲により所得税が減少した結果、これまでの住宅借入金等特別控除（住宅ローン控除）額が所得税額を超えてしまい、控除しきれなくなる場合があります。この控除できなくなった額を、平成20年度の住民税（所得割額）から控除できます。

身近でより良い行政サービスを行うため、国（所得税）から地方（住民税）への「税源移譲」が始まりました。それに伴い、ほとんどの方は平成19年1月からの所得税が減り、その代わりに6月からの住民税が増えていますが、住宅ローンの控除を受けている方については所得税額よりも控除額のほうが大きくなり、控除額を引ききれなくなる場合が発生します。このため、平成11年から平成18年までに入居した方に限り、今まで所得税から控除されていた分については、申告により、平成20年度分以降の住民税の所得割額からも控除する経過措置が設けられます。

対象者

平成18年末までに入居し、所得税の住宅ローン控除を受けている方で、平成19年分所得税から住宅ローン控除額を引ききれなかった方

控除額の計算方法

平成19年分の所得税の住宅ローン控除限度額、または税源移譲前の税率で算出した平成19年分の所得税額のどちらか少ない方から、税源移譲後の税率で算出した平成19年分の所得税額を引いたもの。

申告期限は平成20年3月17日

対象となる方は、平成20年3月17日月までに、平成20年1月1日現在お住まいの市町村または税務署へ「市町村民税道府県民税住宅借入金等特別税額控除申告書」を提出してください。

申告書の提出

①確定申告をされない方は、源泉徴収票を添付して税務課または振興局・各支局の市民福祉課へ提出してください。

②確定申告をされる方は、確定申告書とともに久世税務署または市内各申告会場へ提出してください。

※平成20年以降、適用を受けるためには毎年申告が必要になります。

税源移譲前と移譲後の比較

地震保険料控除が創設されました

地震災害に対して市民各自で備えることにより、災害時における将来的な負担の軽減を図り、資産保全を促進するため、地震保険料控除が創設されました。

今まで対象となっていた損害保険料控除は、短期損害保険料控除が控除対象から外れますが、経過措置として長期損害保険料控除は、平成18年12月31日までに締結したものまでが対象となります。

一般家庭ごみの収集運搬事業者を募集

市民生活部　環境課　TEL0867(42)1113

真庭市では、平成20年4月から民間委託する、一般家庭ごみの収集運搬受託事業者を募集しますのでお知らせします。受託希望の事業者は、締切日までに申請書類を提出してください。

民間委託する区域

①真庭北部クリーンセンター管内（美甘地区・湯原地区・蒜山地区および新庄村）の区域

②クリーンセンターまにわ管内（勝山地区）の区域

③クリーンセンターまにわ管内（久世地区）の区域

応募要件

真庭市内に本社を有する法人

提出書類

廃棄物の処理及び清掃に関する法律、真庭市廃棄物の処理及び清掃に関する条例のほか、各種法令・規則などで定める書類および市長が指示する書類

受付締切

12月20日㈭

提出先

市民生活部環境課

事前説明会

委託事業の説明会を、12月7日㈮、午後1時30分から、久世公民館3階大会議室で開催します。応募希望の事業者はご出席ください。

受託事業者の決定

・提出書類に基づき資格審査を行ったうえで、指名審査会に諮り、指名事業者を決定します。

・指名競争入札により、受託事業者を決定します。

ごみ収集作業の様子

真庭ひかりネットワークの宅内工事指定工事業者を募集

企画観光部　情報推進課
TEL0867-44-2646

平成20年度から、真庭ひかりネットワークの宅内工事（有線テレビに関する工事）については、真庭市の指定を受けた「指定工事業者」でなければ、施工できなくなります。

指定工事業者としての指定を受けるためには、指定の要件を満たしている事業者（個人営業を含む）からの申請が必要となりますが、その申請手続きなどについての説明会を開催します。

開催日時

12月11日㈫　午後2時～4時

会場

勝山文化センター　第1会議室（真庭市勝山319番地）
TEL0867(44)2011

※事前の申し込みは不要ですが、会場の席に限りがあります。各社（法人・個人を問わず）代表して1名のみの参加とさせていただきますので、ご協力をお願いします。

真庭ひかりネットワーク

屋外工事も進行中です

火葬場・各クリーンセンター
年末年始の業務日程

市民生活部　環境課　TEL0867-42-1113

日程にご注意ください

年末年始の真庭火葬場の業務ならびに各クリーンセンターのごみの受け入れ、家庭ごみ収集についてお知らせします。

真庭火葬場

真庭火葬場は、例年であれば31日まで業務を行いますが、今年は31日㈪が友引のため、30日㈰で業務を終了し、平成20年1月3日㈭から業務を開始します。

各クリーンセンター

各クリーンセンターについては、下記の業務カレンダーのとおりです。ごみの受け入れ、収集とも原則同じ日程ですが、平成20年1月6日㈰は、コスモスクリーンセンターのみ休業となります。

○各業務カレンダー

	12月										平成20年1月						
	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7
	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
火葬場	業務			休業	業務					休業			業務			休業	業務

ごみの受け入れ	休業		受入			休業			受入	休業	注1	受入
ごみの収集	休業	注2	収集			休業			収集	休業		収集

注１）平成20年1月6日㈰はコスモスクリーンセンターは休業となります。
注２）12月24日㈪は振替休日のため、コスモスクリーンセンター・クリーンセンターまにわは、燃えるごみのみ収集します。
※　**ごみの受け入れ時間は、午前が9:00～12:00、午後が13:00～16:30です。**

12月1日から実施されます
路線バスの減便・変更

市民生活部　公共交通対策室
TEL0867-42-1017

12月1日から、中鉄バス㈱が運行する、蒜山～岡山線と新庄線が変更になります。路線を利用される方は、減便や時刻の変更などにご注意ください。

変更内容

廃止となるのは、新庄線の2便です。また、蒜山～岡山線の5便に始点と終点の変更があります。始点の変更に伴い、1路線の発車時刻に変更があります。

変更のある路線

蒜山⇒勝山⇒岡山方面

蒜山	田羽根	勝山	岡山	変更点
高 6:40	7:16	8:00	9:59	
	★ 7:26	8:05		
~~高 8:15~~	~~8:54~~	高 9:33	11:32	勝山発
9:45	10:21	11:00		
		高11:10	13:09	
		高13:50	15:49	
~~15:05~~	15:41	16:20		田羽根発
~~17:40~~	17:25	18:04		田羽根発

※緑部分は時刻変更

岡山⇒勝山⇒蒜山方面

岡山	勝山	田羽根	蒜山	変更点
	7:15	7:54	8:30	
高10:55	12:54			
	13:35	14:14	~~14:50~~	田羽根止め
	★15:35	16:14		
高13:45	15:44			
	16:06	16:45	~~17:21~~	田羽根止め
高15:35	17:40	18:19	18:55	
高16:55	18:54			
	19:02	19:41		

勝山⇒新庄方面

勝山	四季桜	美甘上	新庄	変更点
● 7:40	7:59	8:10	8:20	
~~★10:25~~	~~10:44~~	~~10:55~~	~~11:05~~	廃止
13:35	13:54	14:05	14:15	
15:57	16:16	16:27	16:37	
17:40	17:59	18:12	18:24	

新庄⇒勝山方面

新庄	美甘上	四季桜	勝山	変更点
● 7:13	7:25	7:38	7:57	
8:45	8:55	9:06	9:25	
~~★11:10~~	~~11:20~~	~~11:31~~	~~11:59~~	廃止
14:20	14:30	14:41	15:00	
16:45	16:55	17:06	17:25	

［凡例］　★＝土曜・日曜・祝日運休●＝日曜・祝日運休　（高）＝高速経由岡山線

お知らせワイド information 版

お問い合わせは各担当部局へ

若者が若者に贈る交流イベント!!

エコ ラブズ スパ パーティー

ECO Loves SPA Party from 湯原温泉

～「癒し」と「くつろぎ」の空間で交流を～

「若者自身の手で、よりニーズにあった催しを」と、まにわ縁結び推進委員会（真庭市）の呼び掛けにより、若者有志で作る「New Style in 真庭　実行委員会」が発足し、この度、「癒し」と「くつろぎ」、そして「エコ」をテーマとしたイベントを企画しました。

若い世代が集い交流するこのイベントで、自分たちのできる郷土への思いやりを、そして自然が与えてくれる癒しとくつろぎを皆さんと共有・体験できれば、と考えています。

日　時／平成20年１月19日㈯・20日㈰
場　所／湯原温泉街（宿泊先：湯原国際観光ホテル菊之湯）
参加費／男性8,000円　女性6,800円
（１泊２食付（ドリンク別）、各イベント料金込み）
対　象／20代～40代までの独身男女
定　員／60名（男性30名　女性30名）※先着受付

スケジュール

１月19日㈯	14:00	真庭市役所久世庁舎集合（バス送迎　久世―湯原間　片道500円）
	15:00	体験交流時間（湯本温泉館でエコキャンドル作りやグループでゲームなど）
	18:00	交流パーティ
１月20日㈰	9:30	湯原温泉「砂湯」にて記念撮影後、解散（バス送迎 湯原―久世間 片道500円）

【参加申込：完全予約制】申込期間／12月10日㈪～平成20年1月10日㈭

お問い合わせ・受付窓口／企画観光部　企画政策課　TEL0867-44-2639

あなたには生まれた時から
『幸せに生きる権利』が与えられているんだよ
それは、誰にも奪われることのない
当然の権利なんだよ

「育てよう　一人一人の　人権意識
思いやりの心・かけがえのない命を大切に」

12月4日～10日は人権週間

企画観光部　生涯学習課　TEL0867(44)7301

市政Topics トピックス

早川正紀公没後200年記念
名代官の遺徳を偲ぶ

真庭の地で産業振興や領民教育に尽くし、全国的に「名代官」として知られる江戸幕府の旗本、早川正紀公（1739～1808）。久世地区では、その200回忌にあたり、11月11日に記念行事が催されました。

陣屋のあった地元、早川町自治会の主催による「早川公没後二百年祭」では、早川公像前で僧侶の読経、また真庭市と教育委員会が久世エスパスセンターで開いた「久世代官・早川正紀展」では、代官の事跡を写真パネルや史料で紹介。催しを通じて多くの方が代官の遺徳を偲びました。

代官にちなむ「早川町」に「早川踊り」、「代官梨」に「早川太鼓」と、早川公の想いはさまざまな形で地域に受け継がれています。

早川公像の前で行われた没後二百年祭

史料などが展示された早川正紀展

ぼっこう祭で早川太鼓を披露

久世文化祭で踊られた早川踊り

久世駅前にある早川公像

ふるさとをサクラとモミジで飾る
東京山中会設立40周年記念事業

旧川上村、八束村、中和村および湯原町出身の在京者などで構成される「東京山中会」の設立40周年を記念し、市へサクラとモミジの苗木500本が寄贈され、10月27日、蒜山振興局新庁舎で贈呈式と記念植樹が行われました。同会は、故郷の発展に貢献しようと昭和42年に発足し、現在約200人で構成される団体です。式典には、同会の会員7名をはじめ、観光協会やライオンズクラブなど関係者22名が出席。会長の美甘嘉夫氏は「やっと長年の願いがかないました。故郷への思いを込め、『さとこいざくら』と名付けて贈ります」などとあいさつ。続いての記念植樹では、出席者全員が新庁舎周辺に26本のサクラを植樹し、記念碑を除幕しました。残りの苗木は道路沿線や観光施設周辺などに植えられ、故郷を美しく飾ることになります。

故郷への熱い思いが500本もの苗木に込められました

動き

市政に関する動きの一部を紹介します

10/19 酪農を身近に感じてほしい

蒜山イキイキ楽酪協議会が主催する「ジャージー牛も学校へイッテミルク」が米来小学校で開催。児童らは、牛のぬくもりや感触を肌で感じ、牛に対する愛着を深めた様子でした。

10/23 杜の公聴会スタート

市民と市長が意見を交わし、今後の市政に生かす取り組み「杜の公聴会」を美甘支局で開催。美甘・湯原地区から10人が出席し、意見を交わしました。この会は今年度中に計４回開催されます。

11/16 大谷・定古墳群が国史跡へ

文化審議会は、大谷・定古墳群（上中津井）を国の史跡に指定するよう文部科学大臣に答申しました。７～８世紀の古墳群で、市内では、四ツ塚古墳群（蒜山上長田）に続く２例目となります。

11/18 モミジとカラシナでお出迎え

今年度の市の魅力ある地域づくり事業に取り組む湯原地区で「もみじ街道・花いっぱいの会」が開催され、市民ら65人が国道沿いへのモミジの植樹や河川敷へのカラシナの種の播種を行いました。

11/20 人権について学ぶ

人権教育推進のための講演会を市内各地区で開催中です。久世地区では、講師として矢野大和さんを久世エスパスホールにお招きし、「笑って元気」と題しての講演会が開催されました。

地域づくり人材養成講座開講

「地域づくり人材養成講座」が11月10日に開講されました。今回の『体験編』のテーマは「地域の安全はあなたがつくる」で、ワークショップ（自らが体験し、複数人で学び合い何かを創り出す、双方向的な学びと創造の手法）による防災マップ作りを通じて、地域の課題を考えようというもの。初回となった蒜山会場では、８名の受講者が、ＮＰＯ法人まちづくり推進機構岡山の専門スタッフとともに実際にまちを歩き、気付いた点とその克服方法などについて意見を出し合いました。この講座は11月25日まで市内４会場で行われ、約100名が参加。12月からは本格的な防災マップ作りなどを行う『実践編』が開催されます。

お互いが気付いた点を地図にすることで意見も活発に

県幼稚園教育研究大会を開催

落合こども園

第49回岡山県幼稚園教育研究大会が10月26日、落合こども園（公開保育）、落合公民館（全体会）で開催されました。この大会は、同研究大会が設けたテーマについて取り組んできた研究・実践の結果を、県内の幼稚園職員などが一堂に会する場で発表・協議するものです。今回は、落合地区幼稚園・落合こども園が、平成18年度～19年度に「人とのかかわりの中で共に育ち合うこどもたち」と題して実践してきた結果について発表が行われました。当日は県内から360名の幼稚園職員などが参加。全員で公開保育を参観した後、会場を移して研究発表が行われ、続いて文部科学省の湯川秀樹氏による「幼保一元化の中での幼稚園教育のあり方」と題しての講演が行われました。

参加者の見つめる中行われた「公開保育」の様子

上映会を開催（入場無料）
映画「リットルの涙」

15歳で脊髄（せきずい）小脳変性症という難病に冒され、25歳の若さでこの世を去った、故・木藤亜也さんの日記をもとに描いたドキュメンタリー作品を上映します。

日時　12月16日㈰　午後2時～
会場　久世エスパスセンター
主催　真庭市愛育委員会久世支部、久世支局市民福祉課
問い合わせ先　久世支局市民福祉課
TEL0867(42)1117

見て・さわって・楽しんで
間伐のつどい

真庭美しい森林づくりの会が、おかやま共生の森・久世で「間伐のつどい」を開催します。午前中に間伐を行い、午後からはチェーンソーアートやキノコの菌打ち体験などを行います。一緒に森を楽しみましょう。

日時　12月8日㈯　午前9時30分から受付
場所　おかやま共生の森・久世（真庭やまびこスタジアムから東に300（メートル））
※用具、軽食を用意しています
問い合わせ先　美作県民局真庭支局森林課
TEL0867(44)7566

いよいよシーズン到来
スキー場開き

市内3カ所のスキー場開き（ひるぜんベアバレー・上蒜山・津黒高原）が、12月15日㈯に行われます。午前11時から津黒高原スキー場で合同の安全祈願祭が行われ、当日、積雪のある場合は、午後から各スキー場が無料開放されます。

問い合わせ先　蒜山観光協会
TEL0867(66)3220

いで湯のまちは冬も熱い
湯原温泉12月のイベント

12月に湯原温泉で行われるイベントを紹介します。

●ゆず湯　12月22日㈯の冬至の日に露天風呂にちなんだ62個のゆずでもてなします。「風邪をひかない」といわれるゆず湯に入って、健康で新年を迎えましょう。

問　湯原観光協会
TEL0867(62)2526

●露天風呂「砂湯」大掃除　1年間の締めくくりとして、12月27日㈭、一般の方と一緒に砂湯の大掃除を行います。掃除の後は、杵（きね）と臼でついた餅（もち）が参加者に振る舞われます。

問　湯原町旅館協同組合
TEL0867(62)3024

年末年始は閉庁します
市役所窓口

12月29日㈯～平成20年1月3日㈭の間、市役所一般業務は休業させていただきます。住民票、戸籍謄本、印鑑登録証明書、所得証明書などの手続きはお早めに済ませてください。

真庭市人権教育講演会

入場は無料です。

落合会場
12月9日㈰

自らのいじめ体験を基にしたユーモアたっぷりの講演

開演　10:00～
会場　落合公民館大会議室
講師　止場の会事務局、徳島県人権啓発講師団講師／中倉茂樹 先生
演題　「ぬくもりを感じて」
問　落合支局総務振興課（公民館）TEL0867-52-3315

落合人権福祉センターまつりも同日開催。ぜひお越しください。

真庭市の人口

総　数	52,584人	（－59）
男	25,088人	（－39）
女	27,496人	（－20）
世帯数	17,577世帯	（－6）

平成19年11月1日現在
（ ）は前月との比較

支局代表電話番号（総務振興課・出張所）

勝山支局（勝山庁舎）
0867-44-2607
久世支局（久世庁舎）
0867-42-1111
落合支局（落合庁舎）
0867-52-1111
蒜山振興局（八束庁舎）
0867-66-2511
北房支局
0866-52-2111
美甘支局
0867-56-2611
湯原支局
0867-62-2011
中和出張所
0867-67-2111
川上出張所
0867-66-3611

真庭市消防本部
0867-42-1190

餅（もち）つき・しめ縄作り体験

雑煮も食べる

次の世代に伝承したい…

今年、美甘でとれたヒメノモチの新米を使って餅をつき、その餅米のワラを使ってしめ縄作りを行います。自分で作った飾りで新年を迎えてみませんか。縄を作るだけでも経験になりますよ。楽しい作業の後はみんなで雑煮を食べましょう。

日時／12月16日㈰ 10:00～　場所／クリエイト菅谷　申し込み／12月14日㈮まで
定員／30名　参加費／一般1,000円、小学生以下500円
問い合わせ先／クリエイト菅谷　TEL0867-56-2044

あったかいぜんざいでお迎え むかし鹿田市

備中街道の宿場町として栄えた鹿田地区で、むかし鹿田市が開催されます。地区の皆さんが市指定無形民俗文化財「鹿田踊り」を披露するほか、特産品の販売、ぜんざいのサービスなどが行われます。

日時　12月23日(日)　午前10時～
場所　鹿田公民館周辺
問い合わせ先　実行委員会代表　岸本壮　TEL0867(52)1085

出演グループ・スタッフ募集 第1回白梅お花見コンサート

子供からお年寄りまで皆が楽しめる音楽イベント「白梅お花見コンサート」を計画しました。出演グループ、および機材の搬入搬出などを手伝っていただくボランティアスタッフを募集しています。

日時　平成20年4月6日(日)
場所　落合総合公園ふれあいステージ
申込期限　1月18日(金)
出演料　1人　1,000円
問い合わせ先　実行委員会代表　池田卓司　TEL080(3057)1038

平成20年1月13日に開催 真庭市成人式

真庭市成人式は、平成20年1月13日(日)に勝山文化センターで開催します。まだ申し込みをされてない方はお送りしているはがきを至急返送してください。

問い合わせ先　生涯学習課　TEL0867(44)7301

ご協力ください 平成19年工業統計調査

平成19年工業統計調査が12月31日を基準日に実施されます。この調査は、製造業を営む事業所を対象として、その活動実態を明らかにする統計調査です。本年12月下旬から来年1月中旬にかけて調査員が調査票の配布と受け取りに伺います。調査事項は統計以外の目的に利用されることはありませんので、皆さんのご協力をお願いします。

問い合わせ先　企画政策課　TEL0867(44)2639

NGOに関することは何でも NGO相談会

世界中で軍縮や環境保護、地域住民の福祉向上など、さまざまな問題に関わるNGO（非政府組織）。岡山県国際団体協議会は、このNGOに関する無料の相談会を開催します。

日時　12月7日(金)　午前10時～午後4時
場所　勝山庁舎1階ロビー
相談内容　NGOおよび国際協力活動などに関するあらゆる相談・質問・照会
問い合わせ先　企画政策課　TEL0867(44)2639

今月は25日が納期限です 市税・上下水道・介護保険料

12月の市税、上下水道料金、介護保険料などの納期限・口座振替日は25日(火)となっています。年末を迎え納期限が早まっていますのでご注意ください。

一年の計は元旦にあり
力強く第一歩を踏み出そう

走り初め

1/1(元旦)

■勝山元旦に走る会
集合／勝山小学校　受付／8:00～
スタート／8:30　コース／2, 3, 5キロ
問　勝山文化センター　TEL0867-44-2011

■中和新春ジョギング大会
集合／中和出張所　受付／10:00～
スタート／10:20

■天津地区新春マラソン大会
集合／天津小学校　受付／10:00～
スタート／10:30

■津田地区新春マラソン大会
集合／津田小学校　受付／9:30～
スタート／10:00

1/2(水)

■富原新春マラソン
集合／富原小学校　受付／9:00～
スタート／10:00　コース／2. 3キロ
問　勝山文化センター　TEL0867-44-2011

1/13(日)

■北房新春ふれあいマラソン大会
集合／コスモスドーム
受付／8:45～　スタート／9:50～
コース／小学3年生以下1. 5キロ、小学4～6年生3キロ、中学生以上3, 5, 10キロ
参加費／一般500円、高校生以下300円　申込期限／12月18日(火)必着
問　北房支局総務振興課　TEL0866-52-2111

1/20(日)

■久世新春ロードレース大会
集合／久世公民館
受付／9:00～　スタート／10:00～
コース／小学生2キロ、中学生以上2, 4, 6キロから選択
問　久世支局総務振興課　TEL0867-42-1116

※申込期限の無いものは当日受付、参加費の無いものは参加無料です
※自主団体の大会はすべて当日受付、参加無料のため、問はありません

いきものふれあいの里は
12月～3月まで冬季休業ですが、
イベントは元気に行います

かんじき作り体験 参加無料

すべてが雪に閉ざされる冬…。でも、そこには冬にしか見ることのできない自然の姿が！コタツで丸くなってないで、自分だけの「かんじき」で雪原に飛び出そう。(1/27(日)と2/16(土)に雪のイベントを開催予定)

日時／12月15日(土) 10:00～　場所／津黒いきものふれあいの里
申し込み／12月10日(月)までにささゆり館へ　定員／20組
問い合わせ先／津黒いきものふれあいの里　TEL0867-67-7011

縦覧のお知らせ
落合浄化センター環境影響評価

落合浄化センター建設事業の実施に先立ち、岡山県環境影響評価等に関する条例により実施した評価書の縦覧を次のとおり行います。

縦覧場所　都市住宅課（久世第4庁舎）、落合支局産業建設課、ＪＲ姫新線美作落合駅

期間　12月12日㈬～平成20年1月24日㈭までの開庁日　午前8時30分～午後5時

※落合支局は閉庁日も縦覧可能

問い合わせ先　都市住宅課　TEL０８６７(42)７７８１

ご利用ください
入院時食事代減額制度

入院時の食事負担を軽減する制度があります。対象となるのは、真庭市国民健康保険被保険者または真庭市老人保健医療受給者の方で、住民税非課税世帯の方、または税制改正により新たに住民税課税世帯となった70歳以上の住民税非課税の方です。制度を利用される場合は申請が必要です。

問い合わせ先　市民課（TEL０８６７(42)１１１２）または各支局市民福祉課

還付申告もe-Taxで
国税電子申告・納税システム

多額の医療費を支払ったときは、確定申告により所得税が還付される場合があります。このような場合、e-Tax（イータックス）を利用して申告すると医療費の領収書のほか源泉徴収票などの添付が省略できます。このほかにも、一定の要件の下、e-Taxを利用して確定申告すると、19年分か20年分のどちらか1回、最高5,000円の税額控除を受けることができるなどの特典があります。

問い合わせ先　久世税務署　TEL０８６７(42)０４５０

年末・年始の
交通事故防止県民運動
平成19年12月1日㈯
～平成20年1月6日㈰

オンラインで簡単・早い・安い
登記事項証明書の請求

現在、自宅や会社からオンラインによる登記事項証明書の送付請求が可能となっています。オンラインでの請求手数料は1通あたり700円となっており、窓口請求よりもお得になっています。

※利用方法については法務局ホームページhttp://houmukyoku.moj.go.jp/に詳しく掲載

問い合わせ先　岡山地方法務局高梁支局（TEL０８６６(22)２３１８）ならびに真庭支局（TEL０８６７(44)２１５６）

確かめよう
最低賃金

県下すべての労働者に適用される「岡山県最低賃金」が10月26日より改正され、1時間あたり658円（改正前648円）となりました。最低賃金制とは、最低賃金法に基づき国が賃金の最低限度を定め、使用者はその金額以上の賃金を支払わなければならないとする制度で、手当・賞与などは含まれません。

問い合わせ先　岡山労働局賃金室　TEL０８６(225)２０１４

申し込みは2月29日まで
真庭市入札参加資格申請の受付

平成20、21年度に市が発注する建設・測量コンサルタント・物品役務などの参加資格申請書の受付を行います。市が発注する入札に参加したい方は、必ず提出してください。

受付期間　平成20年2月1日㈮～2月29日㈮

受付方法　電子申請による受付および市規定の添付書類

※詳細は広報紙1月号および12月下旬ごろホームページにてお知らせします。

問い合わせ先　管財課　TEL０８６７(44)２６１８

お知らせ Information

休日急患担当医

2日
- 金田病院・落合 0867-52-1191
- 宮島医院（内）・勝山 0867-44-2403

9日
- 勝山病院・勝山 0867-44-3161
- 前原医院（内）・久世 0867-42-5267
- さとう医院（外）・北房 0866-52-9898

16日
- 落合病院・落合 0867-52-1133
- 遠藤クリニック（外）・川上 0867-66-3002

23日
- 湯原温泉病院・湯原 0867-62-2221
- 杉山医院（内）・久世 0867-42-5012
- 吉弘クリニック（内）・北房 0866-52-2704

24日
- 河本病院・落合 0867-55-2121
- 片岡医院（内）・湯原 0867-62-3400

29日
- 近藤病院・勝山 0867-44-2671
- イケヤ医院（内）・久世 0867-42-0122
- 牧原医院（外）・北房 0866-52-2469

30日
- 金田病院・落合 0867-52-1191
- 米田医院（内）・勝山 0867-44-2132

31日
- 湯原温泉病院・湯原 0867-62-2221
- まつうら医院（内）・久世 0867-42-5686
- さくもとクリニック（外）・北房 0866-52-4833

―1月―

1日
- 落合病院・落合 0867-52-1133
- 中山病院・久世 0867-42-0371

2日
- 勝山病院・勝山 0867-44-3161
- 河本病院・落合 0867-55-2121

3日
- 金田病院・落合 0867-52-1191
- 近藤病院・勝山 0867-44-2671

12月の記念日・節気

1日	歳末助け合い運動
7日	大雪
10日	世界人権デー
22日	冬至
23日	天皇誕生日
25日	クリスマス
31日	大晦日

募集します 陸上自衛隊生徒

防衛省では、陸上自衛隊生徒を募集しています。

応募資格　平成20年4月1日において、中学校卒業者または中等教育学校前期課程修了者で、15歳以上17歳未満の日本国籍を有する男子

受付締切　平成20年1月8日㈫

試験日　平成20年1月12日㈯

問い合わせ先　自衛隊岡山地方協力本部津山出張所

TEL 0868(22)5637

発行開始は20年1月4日から ICチップ内蔵運転免許証

IC免許証は、従来の免許証に比べて偽造や変造が難しく、また、本籍をICチップに記載して運転免許証の表面から削除するので、身分証明書として利用するときなどに、プライバシーを保護することができます。

交付するのは、新たに運転免許証を取得する方、運転免許証の再交付を受ける方、運転免許証を更新する方です。IC免許証への切り替えにあたり、今後、手数料が450円アップします。

※登録データの保護のため、4けた数字の暗証番号が2組必要になります。

問い合わせ先　岡山県警察本部運転免許課

TEL 0867(24)2200

建設事業主・現場労働者の方へ 建設業退職金共済制度

建設業退職金共済制度（建退共制度）は、建設現場で働く方を対象とした退職金制度です。掛け金（日額310円）は事業主が現場労働者の労働日数に応じて共済証紙で納め、掛け金の一部は国から助成されます。

詳しくは、建退共岡山支部（TEL 086(225)4133）まで問い合わせください。

ありがとうございます 篤志寄付

●東真産業株式会社より、AED（自動体外式除細動器）設置費用として100万円をいただきました。

●脇重忠雄さんより、市政および諸施策推進費用として、500万円をいただきました。

お詫びと訂正 広報まにわ11月号

11月号の35ページまちの話題、郵政民営化の記事は、「日本郵政公社」ではなく「日本郵政株式会社」の間違いでした。郵政民営化により、日本郵政公社は持株会社である日本郵政㈱と4つの会社に分社化され、民営化後は郵便局㈱が、郵便事業㈱・㈱ゆうちょ銀行・㈱かんぽ生命保険から委託を受けるかたちで、これまでと同様のサービスを提供しています。

入札結果（にゅうさつ）

総務部管財課
TEL0867-44-2618

●予定価格250万円以上の公共工事落札額を公表します。
●表記順
《入札日→工事名（発注課）→落札者→落札額（税抜き額）》

●平成19年10月5日
- 市道下谷線国司橋上部架設工事（建設部建設課）
  オリエンタル建設㈱…50,300,000円
- 鹿田・美川地区（3工区）ポンプ施設工事(電気設備)
  （上下水道部下水道課）山縣電機工業㈱…39,000,000円
- 種地区（2工区）配水管布設工事（上下水道部水道課）
  ㈱ホクセツテクノ…37,000,000円
- 鹿田・美川地区（3工区）ポンプ施設工事（機械設備）
  （上下水道部下水道課）山本設備工業㈱…23,800,000円
- 林道定広宝大寺線開設工事（蒜山振興局産業建設課）
  ㈱柴田工務店…28,300,000円
- 市道中村草野線道路改良工事（建設部建設課）
  ㈲柴田工務店…17,300,000円
- 後谷統合簡易水道変更認可設計業務（上下水道部水道課）
  ㈱日本都市工学設計…4,500,000円
- 市道黒杭線道路改良工事（建設部建設課）
  ㈲横辺工務店…5,300,000円
- 市道西原下見線道路改良工事（建設部建設課）
  田原建設…4,600,000円
- 市道湯谷延風線舗装修繕工事（建設部建設課）
  ㈲横辺工務店…4,350,000円

●平成19年10月16日
- 田下地区（2工区）管渠工事（上下水道部下水道課）
  ㈱横山組…40,000,000円
- 市道長坂線道路改良工事（建設部建設課）
  梶岡建設㈱…11,490,000円

●平成19年10月26日
- 多田上地内配水管布設替工事（上下水道部水道課）
  ㈱平田建設…2,350,000円

●平成19年10月30日
- 林道大久奈線開設工事（産業部農林土木課）
  ㈲角南組…23,900,000円
- 鹿田・美川地区（27工区）管路施設工事
  （上下水道部下水道課）㈱山中工務店…17,900,000円
- 小規模土地改良事業 市場開田管水路改良工事
  （産業部農林土木課）梶岡建設㈱…16,050,000円
- 林道黒畑線改良工事（産業部農林土木課）
  ㈲原建設工業所…15,000,000円
- 真庭北部クリーンセンター作業場兼ストックヤード建築工事
  （真庭北部クリーンセンター）
  ㈱酒井工務店…14,250,000円
- 見尾地区林地災害復旧工事（産業部農林土木課）
  ㈱三木工務店…11,500,000円
- 小規模土地改良事業 六ヶ水路改良工事（産業部農林土木課）
  岡田土建㈱…10,500,000円
- 美川幼児園用地造成工事
  （健康福祉部子育て健康推進課）㈱森本組…9,000,000円
- 小規模土地改良事業 一色水路改良工事（産業部農林土木課）
  ㈲今石建設…5,500,000円
- 小規模土地改良事業 玄澤水路改良工事（産業部農林土木課）
  ㈲中川建材…4,500,000円
- 富山根地区舗装復旧工事（蒜山振興局産業建設課）
  ㈱ナイカイアーキット…4,600,000円

●平成19年11月2日
- 落合地区（第7工区）浄化槽設置工事（上下水道部下水道課）
  志田工業㈱…6,200,000円

掲載：10月5日、16日、26日、30日、11月2日の入札実施分

川柳の発表。1140もの句が集まりました

懐かしい唱歌などを斉唱した「音楽」の授業。久々に歌声が講堂に響きました

「おいしいよ!」思い出の学校給食が復活

懐かしの木造校舎 遷喬物語

建築から100年を迎えた旧遷喬尋常小学校を会場に行われた「遷喬物語」では、昔の授業を再現。格天井の美しい講堂に集まった皆さんは、明治の昔にタイムスリップし、懐かしさや思い出を共感しました。

お手玉を習いました。昔遊びは楽しい!

第19回 全国生涯学習フェスティバル
まなびピア岡山 2007

**岡山県全域で行われた、生涯学習フェスティバル。
多くの皆さんに参加いただき、大盛況でした。
一生を通じてできる「学び」を見つける
きっかけとなったでしょうか。真庭市の様子を写真でどうぞ。**

オープニングを飾った勝山保育園園児によるアトラクション

お酒にドライアイスを入れると?

糸車を作って遊んだよ

勝山会場 ふれあいフェスティバル

絵本の読み聞かせ、科学教室、工作、バルーンアート、展示などのふれあいや体験コーナー、ステージ発表が行われた勝山文化センター。親子で参加された方も多く、さまざまな「学び」を体験していました。

親子でリース作り。ほかにもさまざまな体験コーナーが設けられました▶

落合会場

全国キンボール大会 in まにわ

白梅総合体育館には、県内はもとより全国から73チーム、457人が集合。ニュースポーツのキンボールを楽しみました。

機敏な動きを見せる小学生チーム

各地区

文化祭

美甘宿場太鼓の発表（美甘文化祭）

11月3日には、久世エスパスホールで、吉村作治さん（エジプト考古学者／サイバー大学学長）の講演会が開催されました。「夢をカタチに－エジプト発掘の魅力－」と題した講演では、吉村さんが考古学者を目指したきっかけから、現在に至るまでを、苦労話を交えながら楽しく紹介。「自分もやってみたい」という情熱が「学ぶ」ことにつながり、人生を充実したものにしていったという一例に、訪れた約450人の市民らは静かに聞き入っていました。

真庭の先人たちが培った文化の土壌。11月2日～18日にかけて発表が行われた各地区の文化祭では、多くの皆さんを引きつけていました。

より健康に3Ｂ体操。観客席はいっぱいです（北房文化祭）

市内中学校吹奏楽部５団体の演奏、アカペラグループ「パイロン」の歌声がホールに響いたステージ発表。来場された皆さんは、じっくり聴き入っていました。

▲ PN MOMIGI

▲ 鈴木佐知

▲ 川原夕奈

まにわが好きっ 読者の広場

読者の広場は皆さんから寄せられたハガキなどでつくるページです。

今月は寄せられたお便り68通の中からチョイス

今月のテーマ（10月号で募集）

とっておきのごちそう

ハエの甘露煮

大森喜久恵さん（西原）

わたしが「ハエ」と出会ったのは嫁に来てからです。亡き主人はハエ釣りが好きで、日曜日になると朝早くから旭川に出かけていました。でも、調理になるとわたしの出番、最初は腹ワタを出すのにとても苦労しましたが、主人からコツを教えてもらいながらいろんなハエ料理を作ったものです。今回はそんな料理の中から甘露煮を紹介します。腹ワタを出したハエをきれいに洗い、厚手の鍋に番茶を入れてハエをきれいに並べ、じっくり煮ます。そして、骨がやわらかくなったら砂糖、醤油で味をつけ、汁が少なくなったら弱火にして、残りの汁で味を絡ませるようにして水あめを加え、更に汁が少なくなるまでゆっくり煮ます。「照り」が出たら最後に山椒の葉実を加えて完成です。今では主人が釣ってくれたハエ料理が懐かしく思い出されてきます。「とっておきのごちそう」でした。

甘い香りが漂ってきそうですね

イリボシの甘辛煮

長尾紘子さん（久世）

ごちそうとはかけ離れたおかずですが、10月号のテーマを読んで懐かしく思い出したおかず「イリボシの甘辛煮」を紹介します。昔は毎年大晦日の日になると、「イリボシ」「昆布」などを使って、お正月の雑煮に使うダシ汁を作っていました。そのダシを取ってやわらかくなったイリボシから、頭、腹ワタ、骨を取り、昆布を千切りにして一緒に甘辛く煮るのです。たったこれだけの料理ですが、温かいご飯の上にのせて食べるととてもおいしかったものです。食料難の時代、食材を無駄にせず、わたしたちにごちそうを食べさせてくれた母には感謝の気持ちでいっぱいです。今、わたしはこの方法でダシを作らないので、母が亡くなった後一回も作ったこともなく、もちろん食べたこともないのですが、亡き母と、当時の味を思い出しこれを書いています。

銀沫の麦とろろ飯

影山美恵子さん（山久世）

質素だなんてとんでもない！

定年後に主人の実家、山久世で暮らすようになり、主人の農業もなんとか形になってきました。今年で勝山のやまのいも「銀沫」を作るようになって4年目。この秋は、本当に良いものができました。早速すり下ろして、みそ汁で溶いたものを麦ご飯の上にかけて食べました。何杯でもつるつると入ります。質素ですが、とっておきのごちそうです。親戚などが集まったときにも、この麦とろろ飯を出すと喜ばれました。りっぱな銀沫をありがとう、お父ちゃん。

ここからは広報まにわを読んでのご意見、お便りの一部をご紹介します。

上山分校の三世代交流

石原慧士さん（田原山上）

落合地区の上山地域には、かれこれ25年くらい続いている「三世代交流運動会」というイベントがあります。最近は、上田

上山分校校庭で行われる運動会の様子

お便り お待ちしています！

2月号の読者の広場
のテーマは
「冬の暮らし」です。

初雪の便りもあり、いよいよ冬がやって来ました。皆さん、どんな冬をお過ごしですか?一日中こたつで過ごす人もいれば、ウインタースポーツに明け暮れる人、農閑期を利用して冬だけの生活を楽しんでいる人など、冬ならではの暮らし方や生活の工夫など、お便りをお寄せください。昔を懐かしむ冬の思い出話も大歓迎です。

- **川**柳の兼題は**「風」**
- **イ**ラストや**絵**はがき
- 広報まにわへのご意見やご感想、また皆さんの身近な出来事などもお寄せください。市内で開催された行事に参加した感想でも結構です。

お便りは、「広報まにわ読者の広場直通はがき」をご利用ください。お送りいただく場合は、必ず住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。匿名・ペンネームで掲載を希望される場合でも明記してください。
川柳の締め切りは12月25日㈫です。

▲ PN むしばをなくす

▲ 大倉七菜

▲ PN AIのKO

小学校の子どもたちやＰＴＡ、老人クラブなど地域の人が集まって、年齢の垣根を越えた交流を楽しんでいます。近ごろは、こういった活動をする地域が少なくなったと聞きます。わたしたちは、このような交流を通じて、子どもたちの成長をみんなで見守っていくことができるので、こんなに幸せなことはありません。ずっと大切にしたい地域の交流イベントです。

ふるさとを再発見
藤井　毅さん（赤野）

川東地区社会福祉協議会推進委員会では、地域の名所や旧跡を巡る「ふれあいウォーキング大会」を行っています。５回目となる今回は、大庭地区を歩きました。歴史に詳しい方の説明を受けながら歩いていると、近くに住んでいても知らないことがたくさんあるのだなと思いました。今回は川東地区全体から50人ほどの参加があり、健康づくりとともに交流が深まりました。自分たちの郷土を知るということの大切さをあらためて感じています。

大庭地区を歩くウォーキング参加者

お届けします

広報まにわテキストデータ

秘書広報課では、視覚障害がある方でパソコンの音声読み上げソフトを利用している皆さんに、広報まにわのテキストデータ（文字情報のみをデータ化したもの）を発行時にメールで送っています。視覚障害者でパソコンを利用される方にお伝えください。また、読み上げたものを、音声CDやテープにした「声の広報」もあります。

問い合わせ先
広報まにわテキストデータは、
　秘書広報課　TEL0867-44-2613
音声パソコンは、高取茂樹さん
　TEL0867-42-4660
声の広報は、真庭市社会福祉協議会　TEL0867-52-1500

パソコンの音声に耳を傾ける高取さん

まにわが好きっ 読者の広場

▲ 藤本　茜

▲PN YUUKI

▲ PN 頼基

▲ PN パス

今月の1枚　秋の風景を描く人　10月28日

取材先で、こんにちは。真庭人（まにわびと）

もっと生涯学習

孕石剛志さん（草加部）

生涯学習フェスティバル、懐かしの木造校舎遷喬物語で用務員に扮しました。自分の通った中学校も木造だったので、何ともいえない愛着を覚えました。久世生涯学習推進会議では、少しでも皆さんに生涯学習の楽しさを伝えていきたいと考えています。まず参加してみること。きっと新しい発見がありますよ。

話し合いが地域づくりの第一歩

谷　二夫さん（蒜山別所）

地域づくり人材養成講座に参加し、ワークショップを体験しました。安全・安心にテーマを絞って数キロを歩いただけなのに、参加者それぞれ違った発見があったのには驚きました。これは地域でも同じことがいえるかもしれません。こういった話し合いを、消防水利など、生活に密着した共通の話題からでも始めてみたいと思います。

この自然を未来につなげたい

長尾節夫、凜叶さん（蒜山上徳山）

4年前からブナの植樹会に参加しています。今年は孫と一緒に参加しました。孫も初めての植樹を楽しんだようで、良い記念になりました。ブナの森が大きくなるには相当の月日が必要になります。孫の代、そして次の代を見据えて、この活動を続けていきたいです。

見て、喜んでもらえたら嬉しい

山﨑真美（田口）、西田愛美（種）、木下茉莉香さん（下方）

4月から久世高フェアの実行委員を務めてきました。このフェアは、わたしたちにとってとても大切な、そして楽しみなイベント。この日に向けて、みんな早出をしたり遅くまで残ったりして作品を仕上げてきました。皆さんに喜んでいただけるよう、演出にも工夫しています。来年も行いますので、ぜひ見に来てください。

ぼくたちわたしたちの学校紹介 19/28

中津井小学校 下中津井505

中国自動車道北房インターチェンジから約5分。真庭市の南端に中津井小学校はあります。児童数は88名。毎朝、子どもたちの気持ちの良いあいさつが飛び交う中で一日が始まります。特色ある行事として、本校のシンボルである「センダンの木」に名を取った「せんだん祭り」があります。昔遊びやわら草履作り、餅つきなど、毎年工夫をした内容で、幼稚園児や保護者、地域の方々との交流やふれあいを深めています。

センダンの木のそばで元気に遊ぶ児童たち

真庭市栄養改善協議会の提供です

ヘルシーモクッキング

青大豆のリースハンバーグ

青大豆のハンバーグを可愛くアレンジしてみました。クリスマス料理としてお子さんと作ってみてはいかがですか

●材料（4人分）

青大豆豆腐１丁、玉ネギ１玉、鶏ミンチ肉100ｇ、卵１個、パン粉（麩）30ｇ、サラダ油大さじ１、塩小さじ１/５（１ｇ）コショウ少々

（飾り）人参30ｇ、プチトマト４個（50ｇ）、ブロッコリー35ｇ、レタス30ｇ、

（オーロラソース）マヨネーズ25ｇ、ケチャップ25ｇ

●作り方

①玉ネギをみじん切りにする。人参は星型に抜き、残りをみじん切りにする。ブロッコリーをゆでる

②フライパンに油を敷いて、玉ネギと人参をしんなりするまで炒める。

③ボールに豆腐、玉ネギ、人参、ミンチ、卵、パン粉、塩、コショウを入れこねる。

④クッキングシートを敷いた天板に③を全部移し、リース型に整え180℃に温めたオーブンで20分程焼く。

⑤飾りの野菜を使って、リース風に盛り付ける。

⑥お好みでオーロラソースをかける。

＜1人分栄養価＞

エネルギー 928kcal たんぱく質 64.9g
脂質 46.4g　カルシウム 618mg
鉄分 6.7g　塩分 1.3g

今月のレシピ提供は

芳賀佳代子さん
（湯原支部）

図書館へ行こう　本の紹介

今月は北房文化センター図書室から　TEL0866-52-5220

北房文化センター図書室

〒716-1411
真庭市上水田3131
開館時間　10:00～19:00
（土・日 9:00～18:00）
休館日　月曜日、年末年始、祝祭日（土・日の場合開館）

図書室では、毎月第１土曜日に読み聞かせ教室が開催されています。主催するのはボランティアグループの「スマイルキッズ」の皆さん。定期活動以外にも、小学校などでの出前読み聞かせをしています。本を通して地域の子どもたちに心の栄養を届けます。

『ホームレス中学生』

田村　裕／著

お笑い芸人でもある著者が実際に体験した、うそのような本当の話。突然、帰る家がなくなったり、公園で一人暮らしをしたりと厳しい話も多いのですが、周囲の人たちの支えや、家族とのエピソードなど、心温まる話も多く、読んだあとは元気が出てきます。

川柳「窓」

選：湯原川柳会　狩谷博子さん
２月号の兼題は「風」

窓を開け今日も元気と深呼吸　前田茂登子
朝の窓今日一日の無事祈り　河島貞子
窓開けて今日も幸せ頂こう　西本艶子
窓灯りいとしい家族が待っている　植田万里子
窓開けて昨夜の夢の涙干す　若田万寿子
窓いっぱい開いて福の神を待つ　田中久栄
明日を見る心の窓を拭いている　菊池千江子
言い勝ってひとり心の窓を拭き　妹尾重美
窓開き今日の門出の深呼吸　菊池俊男
車窓から木々の色づき酔いしれる　寺澤敏栄
窓開けて日差しを入れる喪が明ける　楢本公枝
無二が友心の窓を開け放ち　樋口春鶴
窓際でセカンドライフを設計し　武村悠悠
一人居の安否が届く窓灯り　角田好子
老母の住む窓の灯りに安堵する　国米きくゑ
明かあかとまっててくれた里の窓　阿部幸子
窓だけの広さで祖母の春景色　横山とも子

〈軸吟〉生きている証カーテン今朝も開く　博子

中島　勝山　岩井谷　月田　落合垂水　久世　本郷　下河内　本郷　三田　上市瀬　鉄山　上水田　神代　久世　落合垂水　久世

まにわの産地消

MANIWA NO SUN

15 そば（蕎麦）

お話
ひるぜん蕎麦
生産部会
清水 義文さん

わたしたちの挑戦は まだ始まったばかりです

朝霧が徐々に晴れ、朝日が差す。ソバの生育・結実期にこの朝霧が立つと、品質の良いソバがとれるといわれています

蒜山とソバ

ソバには大きく分けて「夏ソバ」と「秋ソバ」がありますが、蒜山では冷涼な気候に適し、より品質が良いとされる秋ソバが栽培されています。湿地を嫌う以外は、栽培が容易で、生育期間も短いことから、高齢者や兼業農家の転作作物として普及。谷あいでも栽培され、耕作放棄地の防止にも貢献しています。副産物として、その小さく白い花が、農地一面に咲き誇る姿が季節の風物詩となっており、観光の一役も担うなど、今では地域と切り離せない作物になっています。

川上地区でソバが栽培されるようになったのは平成9年。「農家の高齢化・兼業化などにより増加する耕作放棄地の増加を防ぎ、かつ地域活性化につながる作物」として導入されました。

初めは手探り状態で、岡山県普及センターの指導を仰ぎながら、生産者と行政が心を一つにして取り組みました。そうした努力が実を結び、順調に組織が拡大。その後、道の駅の施設である「そばの館」を運営している第3セクターのグリーンピア蒜山に部会の事務局を移管し、生産部会と二人三脚で頑張っています。

現在、当組合は、会員94名、栽培面積49ヘクタールとなっており、県下一の生産地となっています。収穫されたもの（19年度実績52トン）から次年度の種を確保（約2トン）した後、約3割は「そばの館」やそば製品など、地域内で消費され、残りは製麺工場などに販売されます。取引先でも高い評価をいただいており、最近は、京都などにも出荷するまでになりました。

ソバの産地の歴史は古く、信州では四百年ともいわれています。そのような産地と肩を並べるまでにはもう少し時間がかかるかもしれませんが、こうして得た自信を胸に、全国に売り出したいですね。

収穫機械や乾燥施設の整備で生産体制も安定し、品質の均一化された、100パーセント地元産の「蒜山そば」が誕生しました。

秋の褒賞・叙勲

秋の褒賞・叙勲を受けられた方をご紹介します

黄綬褒章

元県家畜人工授精師協会長
赤峰和男さん（落合垂水）

昭和25年に県内初の民間家畜人工授精所を開設。以来、家畜人工授精師の地位向上と和牛後継者の育成を図り、自ら和牛経営の実践を通じた種雄牛の作出活動を展開するなど、県内の和牛改良に大きく貢献されました。

瑞宝単光章

元郵政事務官
地面光政さん（本郷）

昭和38年に美作勝山郵便局に就職。以来、平成７年に局長代理として退職するまでの間、郵便、保険業務などに従事。他の職員の模範となり、責任ある職務の遂行に努め、郵政事業の発展に寄与されました。

故人に 叙位・叙勲

●従五位　瑞宝双光章
稲田　昇さん（本郷）85歳
真庭郡久世町立遷喬小学校長を昭和57年３月に退職するまで、41年にわたり教育一筋に貢献。旺盛なる責任感で学校教育の振興に尽力。
（平成19年９月８日逝去）

●正五位
西山四郎さん（蒜山下和）91歳
中和村議会議員として昭和26年から６期16年、村長として昭和48年から５期20年にわたり中和村の地方自治の向上と発展に尽力。
（平成19年９月14日逝去）

●旭日単光章
道仙正幸さん（宮地）81歳
北房町議会議員として昭和44年10月から４期16年にわたり北房町の地方自治の発展と住民福祉の向上に尽力。
（平成19年10月16日逝去）

研鑽に栄誉（敬称略）

市内で受賞・出場をされた皆さんの中から、全国・県高位以上を基準に掲載させていただいています。情報をお寄せください。

■地方自治体施行60周年記念監査事務功労者総務大臣表彰
11/12　東京都
長年にわたる監査委員としての功績に対して総務大臣表彰が送られました。

豊田正發（宮地）

笹尾　充（美甘）

■第39回日展（日本美術展覧会）
11/２～12/９東京都　５科書道の部入選
寺坂昌三（久世）▶

■平成19年度民謡民部全国大会
10/18～21東京都　傘踊りの部優勝

宮坂流津山支部
内市内出場者左から
森田潤一（富尾）
山中須美子（多田）
岸　和子（日野上）
森田　学（富尾）

■第７回全日本ブラック＆ホワイトショウ　11/12～13静岡県
未経産の部出場
長恒泰治（蒜山下徳山）写真左
亀山昌穂（蒜山東茅部）写真右
経産の部出場
森田一文（富尾）写真中

■第17回全国産業教育フェア（沖縄大会）　11/23沖縄県
家政の部意見・体験発表
久世高校家庭クラブ
左から
井上智美、上島恵里、杉山真美、西田美貴、田中好日

■第20回全日本マーチングコンテスト　11/18大阪府

高校生以上の部出場ー明星学院高校
◀福島広之（鍋屋）
□第20回全日本マーチングコンテスト
中四大会　10/17広島県
高校生以上の部金賞

■秋田わか杉国体（第62回国民体育大会）　9/29～10/９秋田県

○馬場馬術競技成年男子優勝
○自由演技馬場馬術競技
成年男子４位
◀原田喜市（蒜山上福田）

○ダービー競技成年女子７位
○標準障害飛越競技成年女子出場
伊藤あき（蒜山上長田）▶

○ハンドボール少年女子出場ー玉野光南高校
◀吉田亜由（福田）
○ソフトボール少年女子出場
ー津山商業高校
山﨑愛子（栗原）▶

○相撲 成年男子出場
◀宮本朋幸（下方）
○相撲 少年男子出場
三島基裕（上市瀬）▶

■第７回全国障害者スポーツ大会

10/13～15秋田県
◀西　圭子（山田）○ソフトボール投げ出場
□第７回岡山県障害者スポーツ大会
５/13岡山市　ソフトボール
投げ標準記録突破

■2007日本ジュニア・ユース選手権大会
10/19～21大分県 陸上400mハードル出場
為本康平（台金屋）▶

■第55回全日本学生剣道優勝大会出場　10/28東京都
□第54回中四国学生剣道優勝大会　８/29岡山市
団体の部優勝ー松山大学　松岡昌範（富尾）

■健やか親子21全国大会　11/15新潟県　母子保健家族計画事業功労者厚生労働大臣表彰　真庭市愛育委員会久世支部

■犯罪のない安全・安心まちづくり県民推進大会　10/12岡山市
絵手紙コンテストこども部門　優秀賞　大槙敏宏（宮地）

■第40回岡山県農林漁業功労者表彰式　10/13岡山市
県知事表彰 大中勇（上水田）、瀧本盈（見明戸）、池田三江子（延風）農林水産部長表彰 芳賀武夫（蒜山上長田）、矢谷光生（五反）

真庭秋祭 2007

10月から11月にかけて、市内各地で開催された秋のイベント。それぞれの地域が、それぞれの特色を生かし、それぞれのスタイルで行われた地域の一大イベントです。笑顔と活気に溢れる一瞬のきらめきを振り返ります。

10/28 勝山文化センター周辺

2007 ふるさと勝山 もみじまつり

町並み保存地区を練り踊り(上)、ステージで披露された16組のソーラン踊り(右)。その迫力ある演出に来場者はくぎ付けになっていました。

10/14 コスモス広場

北房 コスモスまつり

コスモスに囲まれた会場では、コスモスレンジャー(左)などのステージショーやフォトコンテスト(右)など多彩な催しでにぎわっていました。

10/28 落合公民館周辺

おちあい夢まつり

地元小学生らによるステージショー(左)や特産品の展示・即売、各種団体の出店など、たくさんの催しに、来場者は楽しいひとときを過ごしていました。

10/28 クリエイト菅谷美甘ドーム

美甘ふるさと祭り
&クリエイト菅谷感謝祭

古代米を使った美鴨(みかも)ラーメンなどの特産品が販売され、ステージでは早食い競争(左)やもち投げ(右)などが行われ、ドーム内は活気に溢れていました。

11/3 中和体育館周辺

中和紅葉祭

こけら寿司、やきんぼうなど特産品販売(右)やマグロの解体、もちつき(右)などが行われ、文化祭では参加者が日ごろの成果を披露していました。

11/11 久世エスパス土広場

作州くせ2007 ぼっこう祭

名物西条柿や代官梨などが一同に集まる秋の収穫祭。早川太鼓や地元保育園児らによるステージショー(左右)などたくさんの催しを楽しんでいました。

11/11 湯の駅ひまわり館広場

新そば・豆腐まつり

湯原の秋の収穫祭。青大豆豆腐など湯原の特産品が勢ぞろい。大好評そばの早食い大会やエコキャンドル作り(左)などに多くの人が挑戦していました。

ぐるっと まにわ 真庭
まちの話題

匠の手がつくり出す感動を伝える

上：人力のろくろで木地作りに挑戦
右：見事な漆芸が展示されました

勝山文化往来館ひしおで、10月27日～11月13日までの期間、ひしお漆展「JAPAN―海を渡った日本の漆」が開催されました。この展示会は、合理化・機械化などが優先されている現代において、伝統工芸のすばらしさ、匠の技術のすばらしさを再認識してほしいと企画されたもので、ホールには、海外の収集家などから寄せられた約90点の漆芸などを展示。10月27日には、螺鈿界の人間国宝・北村昭斎氏の講演が、そして11月10日～11日には、「郷原漆器の館」の高月国光さんによる木地作りの実演が行われました。

河内小学校創立百周年

河内小学校（中河内）が創立百周年を迎え、11月18日に在校生や地域住民など約120人の出席のもと、記念式典が開催されました。今回の式典は、地区の代表者などで構成される記念事業実行委員会の主催によるもので、祝賀行事では在校生による劇や、住民による神楽や獅子練り、卒業生の思い出話などが披露され、地域をあげて、学舎の大きな節目を祝いました。また、図書館には住民から寄せられた写真や卒業証書など、思い出の品々が展示され、訪れた人たちは思い出話に花を咲かせていました。

懐かしい写真に、時間を忘れて見入っていました

この雰囲気の中にいる人全員が音楽祭の参加者です

ステージも客席も楽しむ

第4回真庭市民音楽祭が11月18日、勝山文化センターで開催されました。このイベントは、地域・年齢・性別などに関係なく愛される「音楽」で真庭地域を一つにしよう、と行われているもので、市内各地から参加があり、音楽の種類も多様です。参加した16団体は、慣れない大きなステージに緊張したり、逆にめったと無い晴れ舞台を思いきり楽しんだりしながら、自分たちの音楽を表現していました。一方、音楽祭を楽しむことができるのはステージの上だけではありません。訪れた観客も、音響の整ったホールで、体に染み入る生の音楽を楽しんでいました。

10/28 県優良牛、畜産物が一堂に

全農県本部総合家畜市場（草加部）で、県畜産共進会が開催されました。当日は同会場で県畜産物フェアも開催。県内の畜産物が味わえるとあって、朝から大勢の来場者でにぎわいました。

10/31 志を持って看護の道を歩む

落合高校で看護科２年生の戴帽式（たいぼうしき）が行われました。この日を迎えた39名の生徒は、ナースキャップを頭に載せられると少し表情を和らげながらも、誓いのことばを力強く唱和していました。

11/2 色鮮やかな菊花を鑑賞

11月２日から４日間、第16回落合大菊花展が落合公民館特設会場で開かれ、会員41人が手塩にかけ育てた菊花を披露しました。来場者は、丁寧に手入れされた作品に興味深く見入っていました。

11/4 山里の秋を感じて

「桜と紅葉まつり」が普門寺（田原山上（たわらさんじょう））の周辺で行われました。四季桜と紅葉のコントラストや、旬の野菜たっぷりの「昔そばきり」など、山里の秋を感じに多くの観光客が訪れていました。

11/11 みなさん まめなかな?

「まめなかな？」元気ですか？という方言が合言葉の富原地域で第９回まめなかな祭りが行われました。地元住民約350人が参加。歌や大正琴、お芝居など、日ごろの練習の成果を披露していました。

久世高フェア開催

シャボン玉などの楽しい演出もあったファッションショー

11月17日、落合ショッピングセンターサンプラザで久世高フェアが開催されました。昨年から始まったこのフェアは、単に学習の成果を発表するだけでなく、生徒自身が地域に出て、人との接し方など、学校では学ぶことのできない多くのことを吸収できる場として、生徒自身の大きな目標にもなっています。会場には学習の様子などを記録したパネルが展示されたほか、花のかご盛り・ビスケット袋詰めといった体験コーナー、ファッションショーなどが行われ、来場者を楽しませていました。また、今回のテーマ「ハッピースマイル」にふさわしく、会場では笑顔でふれ合う生徒と来場者の姿が見られました。

池本日出子さん

原　清子さん

植田静恵さん

おめでとうございます

11月3日には池本日出子さん（岡）と原清子さん（勝山）が、7日には植田静恵さん（鹿田）が百歳の誕生日を迎えられました。長寿の秘訣を尋ねると、好き嫌いなく何でも食べ、80歳くらいまでは家の仕事を手伝っていた（池本さん）、80歳代までは自分で計画を立て、歌手のコンサートなどに足を運んでいた（原さん）、95歳くらいまで自転車に乗って話し友達に会いに行っていた（植田さん）などと話しておられました。これからも元気でお過ごしください。

広報まにわ12月号
平成19年12月1日発行（通巻32号）
■発行　真庭市役所　■編集　総務部秘書広報課
■秘書広報課　Eメール　hisho@city.maniwa.lg.jp
〒717-0013 岡山県真庭市勝山53-1　TEL 0867-44-2613
ホームページ　http://www.city.maniwa.lg.jp

観光回廊まにわ真庭

まにわの温泉だいスキ～！

滑ったあとは、温泉直行

12/15～3/9

ひるぜんベアバレースキー場、上蒜山スキー場、津黒高原スキー場
毎週水曜日はリフト1日券が安い！　リフト代と温泉入浴料が無料になるキッズデーもあるよ！

観光回廊真庭 ウインターキャンペーン

▲詳しくは市役所窓口にあるガイドブックを見てね

キャンドルファンタジー in 湯原温泉郷

キャンドルを作ろう

家庭から出る廃食油でエコキャンドルを作って、キャンドルファンタジーで飾ってみませんか。ただ今、エコキャンドルを作ってくださる方を募集しています。市役所窓口に、申し込み用紙があります。

問い合わせ先
観光振興課
TEL0867-44-2647

編集後記
まにわがスキッ!!

現在、山でどのような問題が起きているかということには、あえて触れていません。皆さんが山に入っていくと、その問題が見えてきます。今ならまだ、山の案内人となる人材が市内には多くおられます。 福

春からどれだけの写真を撮ったことでしょう。思うように撮れずに脂汗を流すこともしばしば。でもカメラに触れるほどに、その奥深い世界へはまってしまいます。生涯の付き合いになりそうな予感が…。 辰

秋のイベントを取材しました。地域の人や文化に触れ、そして郷土料理に舌鼓を打つ(笑)。最高でした。これまでは、「イベントは地元のためのもの」というイメージが強かったのですが…見方が変りました。 佳

PRINTED WITH SOY INK
この広報紙は、環境にやさしい大豆油インキを使用しています。
R100
古紙パルプ配合率100%再生紙を使用しています。
この印刷の一部には、水質保全に有効な水なし印刷方式を採用しています。